

令和7年度 事業報告書

公益財団法人北海道学校給食会

令和7年度は、物価高騰の影響を受けながらも、食育の推進を支援する事業と安全・安心な学校給食用物資を安定的に供給する2つの柱からなる公益目的事業を実施し、児童生徒の心身の健全な発達に資するため、学校給食の円滑な実施に寄与した。

また、令和3年度から推進してきた管理棟・倉庫棟を移転新築とする施設整備事業については、令和7年8月の移転をもって本事業を完了した。

以下、主な事業内容を報告する。

1 事業概要

(1) 食育の推進を支援する事業(定款第4条第1号)

学校等で実施される食育推進事業を支援するため、次の事業を実施した。

ア 各種研究大会等の実施

事業名	開催時期	開催地	区分	備考
学校給食共同調理場 管理運営者研修会	5月9日	中標津町	主催	後援:北海道教育委員会
子ども給食教室	8月19日	札幌市	主催	後援:北海道教育委員会
北海道学校給食研究大会	8月8日	江差町	共催	主催:実行委員会 (北海道教育委員会、江差町教育委員会、北海道 学校給食研究協議会)
北海道学校給食コンクール	1月8日	札幌市	共催	主催:北海道教育委員会

イ 研究団体等への助成

北海道学校給食研究協議会、北海道高等学校給食研究協議会、札幌市学校給食栄養士会、北海道特別支援学校栄養教諭研究協議会の4団体に対し、学校給食の充実及び食育推進のための経費を助成した。(助成実績:3,400千円)

ウ 施設設備、教材等の無償貸出

(ア) 研修室の貸出

北海道学校給食研究協議会、北海道学校栄養士協議会、札幌市学校給食栄養士会、札幌市学校給食麺協同組合に研修会場などとして、延べ9回の貸出を行った。

(イ) レプリカの貸出 55件(学校、学校給食センター)

(ウ) バイキング給食用食器具の貸出 47件(学校、学校給食センター)

(I) DVD等の貸出 3件(学校給食センター)

(オ) 学校給食献立システム 61件(市町村教育委員会)

エ 情報発信

公式ホームページコンテンツにより、学校給食、食育に関する情報を発信するとともに、広報誌「いただきます」を年4回(5月、9月、11月、3月)各2,800部を学校・市町村教育委員会等に配付した。

オ 研修会等への講師派遣

食育に関する市町村教育委員会等からの講師派遣の要請はなかった。

(2) 安全・安心な学校給食用物資を安定的に供給する事業(定款第4条第2号)

常に良質で安全な物資を安定的に供給するとともに、給食の時間における食に関する指導や給食費会計に大きな影響を及ぼさないよう、価格の安定を図る観点から、次の事業に取り組んだ。

ア 学校給食用物資の安定供給

(ア) 必要量の確保・品質の確保

- a 精米・米飯の原料となる玄米はホクレン農業協同組合連合会と、パン等の主原料となる小麦粉は製粉会社との年間契約により、それぞれ必要量を確保した。
- b 玄米、小麦粉については、地産地消の観点に立ち、すべて北海道産の原料を安定的に供給した。

また、地元産米を希望する市町村教育委員会には、それぞれの要望に応じて供給した。

- C 一般物資については、道内産及び国内産を主原料とした物資の取扱の充実に努め、安全で良質な物資を安定的に供給した。

(イ) 価格の安定

- a 年間需要見込みに基づき、年間契約による物資確保をすることにより、適正かつ廉価な物資供給に努めた。また、離島を含め全道すべて同一価格で供給した。
- b 学校における給食費及び市町村の給食関係予算の計画的執行に資するよう、取扱物資の価格を年度前及び学期前ごとに周知した。
- C 精米1キログラム当たり49銭の値引措置を行い、精米(胚芽米を除く)に添付する学校給食用強化米を無償で提供した。

○米穀の供給状況

区 分	令和7年度	令和6年度	前 年 度 比
市町村数	124	124	100.00%
使用量(kg)	3,280,016	3,330,041	98.50%

○パンの供給状況

区 分	令和7年度	令和6年度	前 年 度 比
市町村数	125	125	100.00%
使用量(個)	13,289,831	13,742,538	96.71%

○米穀・小麦粉等の供給数量

区 分	実 績(kg)	計 画(kg)	実 績 割 合
米 穀			
① 精米	1,211,295	1,179,500	102.70%
② 米飯	2,068,721	2,018,000	102.51%
小 麦 粉			
① 小麦粉(自営用)	95,030	88,300	107.62%
② 小麦粉製品			
小麦粉(パン・麺)	1,295,896	1,301,000	99.61%
砂糖	41,805	42,700	97.90%
ショートニング	18,550	18,800	98.67%
脱脂粉乳	19,834	19,000	104.39%

区 分	実 績(千円)	計 画(千円)	実 績 割 合
一般物資	1,816,248	1,848,125	98.28%

※取扱品目数：526品目(令和8年3月現在)

(ウ) 砂糖とてん菜の食育の取組(給食へのあんこ提供)事業への協力

北海道農政部生産振興局及びホクレン農業協同組合連合会から、農林水産省の補助事業を活用した「砂糖とてん菜に関する食育を目的に道産材料を使用した食材(あんこ)の無償で提供する事業」を実施するにあたり、学校給食への提供の取り組みを支援する事業の受注・配送事務取扱に協力した。

(実績:納品先件数 138件、取扱数量 4,127袋、取扱金額(配送費) 413千円)

イ 学校給食用物資の安全性確保

(ア) 衛生検査の実施

安全・安心な物資を提供するため、随時に自主細菌検査等を行った。

(検査実績:100検体)

なお、学校等からの検査依頼はなかった。

(イ) 検査器具の貸出

市町村学校給食センターからの要請により、ATP式拭取検査器等の貸出を行った。

(貸出実績:50件)

(ウ) 研修会の実施及び講師派遣

1か所の指定加工委託工場から衛生管理についての講師依頼を受け、研修会を開催した。

富良野広域連合教育委員会、釧路町学校給食センター、胆振・日高管内栄養部会から衛生管理について、また、北海道学校給食研究協議会栄養部会、釧路管内栄養部会、後志管内栄養部会から商品説明などについて依頼を受け講師を派遣した。

(エ) 加工委託工場実地調査

当会指定加工委託工場の衛生管理状況を確認するため、当会指定加工委託工場60工場すべてに対し、専門員等による実地調査を実施した。

また、市町村からの依頼により、2か所の指定加工委託工場へ立ち入り調査を実施し、主食加工委託工場以外の6工場に対し実地調査を行った。

(オ) 学校給食用パン品質審査会

学校給食用パンの品質向上を図るため、北海道教育委員会と共催し、当会指定加工委託工場39工場を対象として、パンの焼き上がりの状態や味、香り等の品質審査を当会を会場として、7月と3月に実施した。

(カ) 加工委託工場の衛生管理事業に対する助成措置

学校給食用パン、米飯及び麺の指定加工委託工場の衛生管理の維持向上を図るため、施設設備の衛生管理の改善に関する経費を助成した。

(助成実績:15工場に対し4,500千円)

(キ) 加工委託工場衛生管理講習会

衛生管理及び異物混入防止の意識向上を図るため、当会指定加工委託工場関係者のほか、精米の搗精工場、製粉会社、一般物資に関係する企業、市町村教育委員会などの製造担当者等にも対象を広げた衛生管理講習会を北海道パン・米飯協同組合、札幌アール・ビー・エム協同組合、札幌市学校給食麺協同組合との共催で実施した。

2 評議員・役員及び職員数

(1) 評議員 9人

(2) 役員 8人(理事長1人、常務理事1人、理事4人、監事2人)

(3) 職員 18人

区 分	氏 名	現 職 等
評議員 (9名)	藤 井 壽 夫	函館市教育委員会教育長
	長 谷 川 孝 雄	前むかわ町教育委員会教育長
	田 邊 芳 明	札幌市立豊園小学校長
	吉 本 将 樹	札幌市立稲穂中学校長
	小 川 佳 恵	札幌市立東山小学校栄養教諭
	椿 野 次 雄	北海道PTA連合会事務局次長
	先 名 孝 亘	札幌市PTA協議会副会長
	森 靖 明	北翔大学教授
	長 島 博 子	一般社団法人北海道消費者協会会長
理事 (6名)	松 本 邦 由	公益財団法人北海道学校給食会理事長
	木 戸 拓 史	札幌市教育委員会総務部学校支援担当部長
	金 山 仁 美	小樽市学校給食センター副所長
	須 藤 克 志	北海道札幌東高等学校長
	益 満 等 之	市立札幌豊明高等支援学校長
	花 田 誠	公益財団法人北海道学校給食会常務理事
監事 (2名)	遠 藤 昭 一	遠藤昭一公認会計士事務所長
	鈴 木 浩 太	札幌市立有明小学校長